

訓練スタート



訓練開始の放送

今回は、火災を想定した訓練になります。

副校長先生の放送で、出火場所、通ることができない場所、避難の注意事項を伝え、一斉に避難が開始されます。

避難準備

今回は火災の想定だったので、煙が入らないように、窓を閉める対応をしています。

地震の際は、窓ガラスの飛散を防ぐため、カーテンを閉め、ドアの枠が歪んで開けられなくなることを防ぐため、ドアを開ける対応をしています。



訓練ゴール



避難訓練終了

訓練終了後、各先生が子どもたちに訓練の重要性を伝えます。

- ◆「出火元はどこでしたか?」、みんなで放送内容を確認
- ◆人数確認の大切さの指導
- ◆命の大切さ、友達同士の助け合いの大切さの指導

訓練の内容によっては、東京防災や各種リーフレットを活用するなどして指導を行なっています。



避難完了報告

各先生が副校長先生に子どもたちの人数確認の報告をします。

粕江第五小学校では、非常時人数連絡カードを各先生が記入し、副校長先生に伝えています。以前は口頭で報告していましたが、時間がかかったため、時間を短縮する工夫を行っています。

副校長先生は、全校の避難人数と異常の有無を確認します。全員が確実に避難できたこと確認し、校長先生に報告します。

非常時人数連絡カード	
年 組	
在籍人数	名
欠席者数	名
避難人数	名
異常の有無	有・無

もどらない、おさない、かけない、しやべらない、ちかづかない

学校では、年間の安全指導計画に沿って、避難訓練を毎月行っています。月ごとに安全指導重点項目を設定し、子どもたちに安全指導を行っています。



人数確認

前から一人ひとり確認し、先生に確認を受けた子どもから座ることで、確実に人数確認を行います。

また、廊下やトイレなどの確認も教職員があらかじめ定められた役割分担に沿って行います。

